

DO YOUR BEST

NO. 210

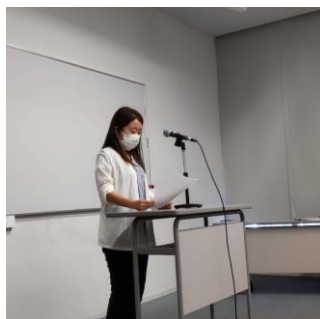
介護福祉士

2021.8 発行

一般社団法人
福島県介護福祉士会
文責 小山田 米子

【令和2年度ファーストステップ研修修了者紹介】

令和2年度ファーストステップ研修は、コロナ感染症緊急事態宣言等があり開催日が令和3年1月9日からの開催でした。
開催最中に、2月は震度5弱の地震があり、5月はコロナ感染症拡大状況のためオンライン開催となり受講生10名の皆様には不安な状況での受講でしたが、7月31日無事に15日の間集合研修・事前課題・事後課題総計232時間を修了されました。



「おめでとうございます！ 本当にお疲れ様でした。」 次のステップ「認定介護福祉士をめざしましょう」

令和3年度認定介護福祉士養成研修は、令和3年11月27日（土）より開催致します。現在20名の受講申込みがありました。

福島県から認定介護福祉士誕生が見えてきました。介護職チームに対する教育指導、介護サービスマネジメントを行い、介護職チームのサービスの質を向上させる。地域包括ケアを推進するため、介護サービス提供において多職種との連携・協働を図る。地域における施設・事業所、ボランティア、家族介護者、介護福祉士等の介護力を引き出し、地域の介護力の向上を図る。といった役割の期待される介護福祉士を養成するための研修です。

応援してます!!!



FUKUSHIMA

一般社団法人 福島県介護福祉士会

〒963-0108 福島県郡山市笹川一丁目184-29 クレストハイツ184 102号室

FAX 024-943-1848 E-Mail jaccw_fukushima@ybb.ne.jp

ホームページ <http://www7b.ne.jp/~jaccw-fukushima/>



【リレーフォーライフジャパン2021福島】

県北方部 五十嵐 稔

7月11日まだ梅雨の開けていない小雨が降り、時折晴れ間が見える中福島市「街なか広場」にからリレーフォーライフ2021福島が開催されました。例年通りの大規模な会場での開催ではなく、新型コロナウイルスの影響により規模は縮小、マスク着用・手指消毒・ソーシャルディスタンスを保ちしっかりと予防対策を取りながらの開催となりました。3つのコースが準備されており特製のレモネードの提供などもあり熱中症対策も万全でした。いまだに新型コロナウイルスの動向はわかりませんが、今後も県北方部としてリレーフォーライフへの参加をしていきたいと思ひます。



【倫理委員会より】

最近医療系のドラマをテレビで多く見かけます。興味を持って見ていると、患者さんをストレッチャーからベッドへ移乗の際、「〇〇さん、移りますよ。1、2、3」と言っている場面がありました。一緒に見ていた家族から「移る時は声掛けするの？」と聞かれ「当たり前でしょう」と咄嗟に答えました。皆さんは無意識に行っていることかも知れませんが、どのような声掛けをしていますか？

たとえば、「いっせーのせ」「せーの」「よっこいしょ」「どっこいしょ」などは声のトーンによって、物を運ぶ時の声掛けにも聞かれます。「そーれ」だと物を投げる時に使う良くないイメージにも聞こえます。

二人で移動介助する時は職員同士の呼吸を合わせることや利用者様へ「これから移動しますよ」と伝える為に声掛けは必要ですね。また、事前にどのタイミングで行くか「1、2の3で移りますから」や「せーので移ります」としっかり声掛けして、利用者様が心の準備をすることも大切です。

利用者様への尊厳の意味を込め、安全、安楽に介助する為には職員同士お互いが声を掛けタイミングを合わせることが求められるのではないのでしょうか。それには、常に職員同士のコミュニケーションを図ることも必要だと思ひます。





【第1回都道府県介護福祉士会災害担当者における勉強会に参加して】



理事(防災委員) 八巻 健一

7月20日火曜日午後2時より、日本介護福祉士会災害対策検討委員会主催の第1回都道府県介護福祉士会災害担当者における勉強会にオンラインで参加をしました。

研修の概要等については、日本介護福祉士会の会報に掲載されていますので、今回は グループワークで話された内容を報告します。

討議の内容は「自分だったら何ができるか」「次の研修に望むこと」についてでした。

グループのメンバーは、千葉県・岡山県・香川県・大分県の方々でした。

「自分だったら・・・」については、各県ともに様々な災害を経験しており、実情を踏まえた意見が多く出されましたが、共通していた点は研修会等に参加したりしていても、実際に動くためには、法人の理解が不可欠であるといった点でした。そのため、どのように法人の理解を得ていくかが今後の課題になるといった意見が多くきかれました。

「次の研修・・・」については、どんな研修であれ、“まず動く”ことが意識の啓発につながるといった意見でままりました。

短時間の討議でしたので、なかなか深いところまでの議論は出来ませんでしたが、コロナ過の中で、いろいろな地域の方と顔を見ながら会話できたこと自体が何よりも学びになったように思います。今回の研修を通して、“なにか特別なことをする”のではなく、“まずは、はじめてみる”という意識を高めることが大切である事に気づくことができました。私も防災委員の一員として、会員の皆様の意識啓発のために研修会の開催など企画していきたいと思います。皆様も他人事ではなく、我が事と捉えて研修会等に参加いただければ幸いです。

最後に、今回の研修でも話されていましたが、災害におけるボランティア等の役割は多岐にわたります。現在のコロナ過の状況も災害に近い状況にあります。今こそ介護福祉士の役割である“つなぐ力”が試されている時ではないでしょうか。



【研修委員会より】

～ケアリハビリ研修会開催します！～

内容: 1. 知ってほしい心不全のアセスメント

講師: 舟見 敬成 氏



2. 筋委縮性側索硬化症(ALS)のリハビリテーション
ー人工呼吸器を付けたALS患者の退院支援から学んだことー

講師: 倉品 利江 氏



3. 骨折の連鎖を防ぐ！『骨粗鬆症の病態理解』

講師: 影山 喜也 氏



※来年2月頃、オンデマンド配信で、実施予定！





受講者募集しています！

【介護福祉士基本研修】

開催日：令和3年10月6・13・20・27日 水曜日 9時～17時
会場：二本松市 福島県男女共生センター 第3研修室
受講要件：介護福祉士取得後3年以内
今後ファーストステップ受講予定者
受講料：会員15,000円 非会員 20,000円
申込み締切日：令和3年9月25日(土)

厚生労働省委託事業

【技能実習指導員講】



開催日：令和3年11月21日(日)
会場：郡山市 国際医療看護福祉大学校
受講要件：技能実習生を受け入れる施設関係者
受講料：無 料
申込み締切日：令和3年11月5日(金)



ご当地の魅力

【いわき方部より】



いわき方部 和田広美

いわき市を中心に活躍するパフォーマー、横田圭祐さん！

お酒の瓶を投げるフレアバーテンディング、キャラクターや動物等を作るバルーンアート、顎の上にカラーコーンに乗せるバランス芸などパフォーマンスの幅も広く、数々の大会で優勝や好成績を収めています。またパフォーマンス中の軽快なトークも好評で、イベントMCなどを勤める事もしばしばあります。2016年11月には、三角コーンを26個顎の上に乗せるパフォーマンスでギネス世界記録に認定されました。めざましテレビや有吉反省会、ZIP、世界仰天ニュースなどメディアにも出演し注目を集めています。2019年には、全国からの支援者をつのり、台風被災者への支援など行っています。普段は作業療法士として、片寄診療所通所リハビリセンターに勤めており、大道芸が本業ではないにも関わらず年間通し100回以上パフォーマンスをしています。コロナ禍の今、イベントも限られ、リモートにてパフォーマンスを披露するなど活動にも変化が出ています。他、イベント企画会議や大学での講義、始球式など多方面で活躍しています。機会があれば是非、横田圭祐さんのパフォーマンスをご覧頂きたいと思います。



編集後記

皆様、今年の夏は、いかがおすごしだったでしょうか？

コロナ感染予防対策2年目を迎えて、日々不要不急の外出を控えて来られた事と思います。

各事業所での利用者様、入所者様の命を守ることを第一に考えて精一杯仕事に取り組んでいる皆様の姿が目に見えております。

どうか、自分の命を大切にしてください。【うつらない・うつさない】そして、コロナ感染が終息した時に、辛い時代を乗り越えた皆様と笑顔で、お会いできる日を楽しみにしております。

先の見えない現状ですが、皆さん、【顔晴り(がんばり)】しましょう！】